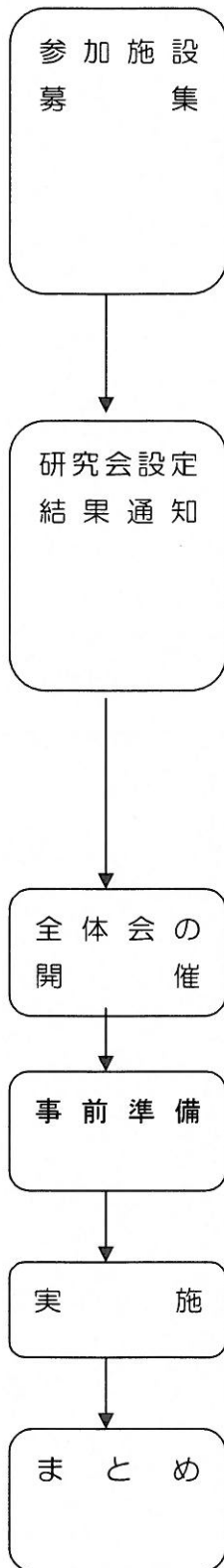


# 作業種別研究会の流れ



(障害福祉サービス事業所等)

- ①問題・課題、あるいは改善したいことなどまとめる
- ②「参加申請書」の必要事項を記入する  
※作業種別とは「食品」「石けん」「農業」「さをり織り」等の種別のことです。  
※主な内容としては、商品開発、品質向上、付加価値の向上、販路、施設の経営・運営が考えられます  
※先進施設の視察・現地調査等にも対応します。  
※問題・課題がわからない場合も、指導内容などご相談に応じます。

(セルフ支援センター)

- ①障害福祉サービス事業所等からの参加申込にもとづき、作業種別研究会を設定する  
※複数の障害福祉サービス事業所から、同一の作業種別の参加申込があれば、その作業種別について作業種別研究会を設定します。その際、その複数の会員施設を“メンバー施設”と呼びます。  
※また、ある障害福祉サービス事業所が参加申込をした作業種別について、他の施設から申し込みがない場合は、その種別については、作業種別研究会を設定しません。この場合の課題解決は、コンサルタント派遣事業で個別対応します。
- ②参加申込事業所に対して、結果と全体会開催を通知する

(メンバー事業所・セルフ支援センター)

- ①メンバー事業所の互選により、幹事を選出する。
- ②メンバー事業所の協議により、活動計画を策定する。

(メンバー事業所・セルフ支援センター)

- ①講師の選定や会場の手配、視察先施設への依頼を行う
- ②講師や視察先への依頼文書とメンバー事業所への開催通知を作成・送付する

(メンバー事業所)

- ①講師からの指導を受けたり、あるいは先進施設への視察を行う

(セルフ支援センター)

- ①講師謝礼・材料費・賃借料等・講習会開催時のメンバー旅費の支払い

(メンバー事業所)

- ①レポート（任意の様式）の提出

本参加申込書は、必要枚数コピーし、1種別につき1枚使用してください。

## 作業種別研究会 参加申込書

施設名		代表者氏名	
-----	--	-------	--

希望する作業種別名	「食品」「石けん」「農業」「さをり織り」等具体的に記入
参加目的	「〇〇という課題を解決したい」「△△の情報を収集したい」等具体的に記入

**【送信先】**  
**岐阜県セルプ支援センター**  
**FAX058-275-4888**  
**【申込期限】**  
**平成30年6月12日(火)**